

新美南吉生誕110年記念南吉講座

新美南吉とはだれか

日本児童文学に南吉がのこしたもの、
そして、南吉を引きつぐ試みについても

安城ゆかりの児童文学作家新美南吉は、
今年生誕 110 年を迎えました。

南吉の童話はどのような独自性をもつのか、それがどのように評価され、受け入れられたのか。南吉童話を継承する試みはあるのかなどについてお話しします。

日時

令和 5年

10月 8日 (日)

午後2時から4時まで

場所

図書情報館 3階

健康支援室・講座室

講師

宮川 健郎 氏



1955年、東京都生まれ。立教大学文学部日本文学科卒。同大学院修了。

日本児童文学、国語科教育専攻。

宮城教育大学助教授などを経て、現在、一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団(IICLO) 理事長。武蔵野大学名誉教授。日本児童文学学会会長。

『国語教育と現代児童文学のあいだ』(日本書籍 1993年)、『現代児童文学の語るもの』(NHK ブックス 1996年)、『物語もっと深読み教室』(岩波ジュニア新書 2013年)など著書編著多数。

新美南吉関係の編著に『名作童話 新美南吉 30選』(春陽堂書店 2009年)、『名作童話を読む 未明・賢治・南吉』(春陽堂書店 2010年)、『ごんぎつね』(1年生からよめる日本の名作絵どうわ4、南伸坊絵、岩崎書店 2012年)、『あめ玉・でんでんむしのかなしみ』(はじめてよむ日本の名作絵どうわ3、後藤範行絵、岩崎書店 2016年)などがある。

対象

一般(高校生以上)

定員

50名(先着順・定員になり次第締め切ります)

申込み

9月8日(金) 午前9時より申込み開始
電話、FAX、メールのいずれかでお申込みください

